

みやこんじょ



No.45

発行日 2016年10月1日
 発行 独立行政法人国立病院機構
 都城医療センター
 宮崎県都城市祝吉町5033番地1
 TEL 0986-23-4111

基本
 理念

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心して、信頼できる病院をめざします

病院の庭の梅檀の木

院長 冷牟田 浩司

いつも大変お世話になっております。

私は本年7月に福岡から赴任して参りましたが、あっという間に早や2か月が過ぎました。赴任当初は都城の強い日差しに戸惑っていましたが、いつの間にか朝夕の涼しさを感じるようになり、宿舎の庭の鈴虫の鳴き声に我に返る日々になりました。赴任当初は1か月独身者向けの宿舎で過ごしましたが、8月に病院敷地内の院長宿舎に移りました。

この院長宿舎に中庭があります。その中庭の一角に大人一人の両腕を広げても届かぬくらい根元が太く、高さは優に10mはあるかと思われる大木がそびえています。梅檀せんだんと言う樹木かんばだそうです。調べると「梅檀は双葉より芳し」と言う諺があることを知りました。双葉の時期から芳香を放つということから、優れた資質は幼少から他を逸するものを持っているという有難い故事でしたが、それよりもなにより私の関心はこの樹木は何時からここにそびえているのであろうかということでした。職員に聞いてみてもそのいわれを知る者はいませんでした。おそらく現在の都城医療センターの前身である都城衛戍病院えいじゅが創設された時（明治42年）に植えられたであろうと思われます。一輪の小さな苗木が100年を超える年月を超えて成長した姿であろうと確信しています。切り株には歴年の年輪が刻まれているはずで、都城医療センターの歴史に改めて誇りを感じました。

そのような歴史を有する都城医療センターの全面新築計画が順調に進みました。平成20年からの病棟新築に続いて昨年10月に新外来診療管理棟が竣工し、本年8月に外来者駐車場の整備が終

了し、新しい最新の病院に全面的に生まれ変わりました。昔を知る地域の皆さんからはこれが本当にかつての都城病院かと思えるようになったと喜んでいただいています。

本年8月に新しく電子カルテも更新しました。その新システムも軌道に乗ってきました。一層の機能強化された診療システムにご期待下さい。

旧病院では患者の皆さんにご不自由をおかけしていましたが、外来棟での受診診療、新病棟での療養生活は十分ご満足いただけるように整備されたと思います。

箱物は出来上がりました。これからはそのインフラに恥ない医療を実践するために魂を根付かせる作業を進めているところです。がん診療連携拠点病院として地域のがん専門診療の中心的施設として、また県西部や鹿児島大隅地区の周産期医療を一手に引き受ける地域周産期母子医療センターとして、そして地域医療支援病院の特色を生かして、地域医療の第一線のかかりつけ医の先生方と連携を密にして急性期医療を担う地域での基幹施設としての当院の役割を引き続き、しっかり果たしていこうと思っています。

建物が新しくなっても、どんな時代になっても患者さんと地域に愛される「この病院で診てもらって本当に良かった」と思っていただけのように職員一同努力を続けていこうと思っております。引き続き宜しく願い申し上げます。



看護学校祭

平成28年10月7日(金)・8日(土)

参加費無料

産婦人科の紹介

都城医療センターは宮崎県の西部地区を担う地域周産期母子医療センターに指定されており、この地域の周産期医療の拠点として産科（母体胎児）領域と新生児領域に分かれて日夜診療を行っています。



周産期・母子医療センター長
産婦人科医長
徳永 修一



産婦人科
古田 賢



産婦人科
山口 智子

現在、産婦人科は医師3名で常勤し、交代で当直を行っています。産科と婦人科の紹介頂いた患者さんの診療を行いながら、日々地域の開業医の先生方、助産院の助産師方からの緊急母体搬送を受けています。ベッド数が足りないことも多々あり、経膈分娩後や帝王切開後は母体の体調が回復した段階で紹介元の医療機関に転院し、その後の産褥の管理を行っていただいています。

昨年の実績としては、1日平均外来患者数43名、分娩件数は496件、うち帝王切開は276件、手術件数は婦人科を含め510件、母体搬送120件でした。

毎朝8時から常勤医師で入院患者全員のカンファレンスを行い、夕方には入院患者のカンファレンスに加えて、手術症例のカンファレンス、外来症例のカンファレンスなどを行い、より質の高い医療を目指しています。

地域周産期母子医療センターとして、NICUを担当する小児科の医師と毎週ハイリスク症例カンファレンスを行っており、産科側と新生児側で活発に意見を交換しています。さらに緊急の症例などにつ



いては常に連絡を取り合いながら切れ目のない診療を目指しています。とくに早産の症例や胎児が危険な状態で搬送されてくる場合など新生児蘇生の段階から小児科医師が立ち会い適切な新生児管理を行っています。

婦人科についても良性疾患（子宮筋腫、良性卵巣腫瘍）、婦人科救急疾患（異所性妊娠（かつては子宮外妊娠と呼ばれていました）、卵巣腫瘍茎捻転、卵巣出血など）、悪性疾患（子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌、卵管癌）を問わず診療を行っています。

広汎子宮全摘術や各種癌の再発症例など、高度な外科手術を要する症例は宮崎大学産婦人科に紹介し、その後の化学療法や全身管理を行うなど大学病院とも密に連携を図りながら診療を行っています。

産科、婦人科領域共に24時間体制で紹介された患者さんの受け入れを行っています。

皮膚・排泄ケア認定看護師の病院内・外での役割紹介

都城医療センターには、二人の皮膚・排泄ケア認定看護師がおります。それぞれの役割を褥瘡担当とストーマ担当に分けて活動しております。

褥瘡担当の嶽元とも子皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡専従として活動しております。褥瘡予防対策はもちろんのこと、褥瘡を発生した患者のアセスメントを病棟看護師と行い、褥瘡が早期に治癒となる全身・局所のケア方法を各病棟の看護師に提案しております。ストーマ担当の平野香奈皮膚・排泄ケア認定看護師は、外来業務と並行してストーマ造設術前より、患者とその家族への関わりを行い、ストーマケアを習得できるように患者・家族の教育だけでなく看護師の教育も実施しています。二人が活動していく中では、院内の看護師・ナースアシスタントへの教育だけでなく地域の医療施設や介護施設、訪問看護ステーションの皆様向けの研修や各施設からの依頼出前講座を行っております。

健やか出前講座の場面を紹介します。褥瘡に関連する研修を介護施設で行ったものです。少人数での研修であり、活発な意見交換となりました。介護施設職員の皆様に学習の場を提供することができました。講義の後に利用者さんの皮膚を覗せて頂き、ケア方法の提案をさせていただきました。



健やか出前講座は、褥瘡・ストーマの講義だけでなく、他の認定看護師も講師として参加しております。

地域の新人看護職員研修の場面では、講義だけでなく演習を行い、実践に即したケアが実施できるようにと考える研修を企画しております。



地域の新人研修の講義内容は、皮膚・排泄分野だけでなく、感染・救急・医療安全・口腔ケアなど様々な内容での研修となっています。

紹介した皮膚・排泄ケア認定看護師以外にも皆様に活用して頂ける人材 = リソース（皮膚排泄ケア、新生児集中ケア、がん性疼痛看護、緩和ケア看護、がん化学療法、感染管理、手術看護、リンパ浮腫指導技能士、フットケア指導士、栄養サポート専門療法士）が当院にはおりますので、ぜひ活用いただくようお願い致します。健やか出前講座に関しては、地域医療連携室が窓口となっております。

（褥瘡専従看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師 嶽元とも子）

看護学校祭

平成28年10月7日(金)・8日(土)

参加費無料

メディカルキッズ医療体験ツアー

8月3日に中学生20名、4日に小学生20名を対象に「メディカルキッズ医療体験ツアー」を行いました。今回で3回目となる企画ですが、年々参加希望数も増えてきており、今年度は213名の参加希望がありました。シミュレーターを使った「採血の実施」「BLS訓練」「縫合体験」「内視鏡操作」をはじめ、「顕微鏡検査」「心電図測定」「フットケア」「リンパマッサージ」「血圧測定や肺音聴取」「輸液ポンプ操作」「車いす操作」などたくさんの体験を行いました。中学生・小学生とも医師や看護師の白衣を着て、当院のスタッフと同じ名札を身につけ医療体験に臨みました。実際に現場で働く医師や検査技師、看護師から説明を受け、体験の中では目をキラキラと輝かせ、興味を持って取り組んでいました。感想の中でも、「ドクターになりたい」「看護師になりたい」という言葉も聞かれ、医療に対する関心が深まったようでした。最後に冷牟田院長より一人一人に修了証書を手渡され、集合写真を記念品として体験ツアーを終了しました。小学生、中学生共に夏休みの貴重な体験となったようでした。今回の経験がきっかけとなって医療職が将来の夢に繋がっていくことを期待しています。

(教育・研修部 副部長 和氣美紀)



内視鏡体験



BLS体験



採血体験



心電図体験



ふれあい看護体験が開催されました。

7月26日に都城市内の高校2.3年生25名(男子5名、女子20名)の参加による「ふれあい看護体験」が行われました。この「ふれあい看護体験」は看護ケアや看護の心、看護師の仕事の理解を深めることを目的に毎年行われています。参加された25名の高校生みなさんは初めての白衣を身に着け、緊張した表情で1～5病棟に5名ずつ配置されました。各病棟では今年度発足した人材確保プロジェクトチーム員の計画に沿って、計測や移動動作・清潔援助・新生児室の対応など、患者様とコミュニケーションをとり、ふれあい看護体験を楽しんでいる様子が伺われました。



体験後の座談会では「看護師の仕事は大変だがやりがいがあると感じた」「看護師の患者さんとのコミュニケーションの取り方を学んだ」「将来看護師・助産師を目指したい」などの感想がかけられました。また、経験した内容は配置病棟で違いましたがそれぞれの体験を共有することで、多様なニーズに対応する看護師の役割の重さを感じていたようでした。最後に体験した一日を映像で振り返り、短い時間でしたが各々が看護師の仕事をしっかり見つめ、看護職を真剣に自分の方向性としてとらえているところが印象的でした。今回の経験によって、看護師を身近に感じ、一人でも多くの高校生が看護師という職業に興味を持ち魅力を感じて目指してくれることを願いたいと思います。

(地域医療連携部 副部長 鳥丸章子)



～ ふれあい体験に参加した高校生の感想 ～

- ※ 看護体験をして、看護師という仕事はどういうものなのかよくわかった。最初は、大変だろうと思っていたがその分すごくやりがいがあり、責任感のある仕事だと思った。特に大変だったことは、患者さんとコミュニケーションであった。患者さんに声をかけることで、患者さんの状態を知ることができ、また車椅子などで連れて行く時なども、患者さんには今から何をするのかなど分からないので大切だと思った。病院は、看護師だけではなく多くの職種から成り立っていると知った。今日1日とてもいい経験をする事ができた。
- ※ 今回の体験で赤ちゃんに関わる多くのことを学んだ。なかでも生後3日目の赤ちゃんを抱っこしたことは、とても印象深かった。看護師になりたいという思いがより強まった1日で、自分もなれるようがんばりたいと思った。また、将来1人の女性として自分が赤ちゃんを産むことになったときは、新しい命を大切にステキなお母さんになりたいと思った。
- ※ 今回のふれあい看護体験を通して、看護師の仕事の幅広さを知ることができた。私は薬剤師を志望しているが、看護師も薬剤の知識を身に付けると知って驚いた。患者さんへの食事に関しては献立以外にも形状などにも配慮をされていてすごいなと感じた。自分の目標が具体的にになり、薬剤師を目指して頑張りたいと思う。



ふれあい看護体験に参加した高校生と記念撮影



看護学校オープンキャンパス

今年度も、看護学校ではオープンキャンパスを2回開催しました。昨年に引き続き今年度も多くの方々に参加いただきました。

私は、2回目開催（8月28日）のオープンキャンパス看護技術体験のコーナーを担当しました。参加された方には、学校紹介のあと、静脈血採血体験・赤ちゃん抱っこ体験・高齢者体験をグループに分かれて体験していただきました。初めは緊張していた中学生・高校生も体験や懇親会を通して、少しずつ笑顔も増え、楽しく過ごされた様子でした。最後の懇話会では、学校生活や実習、入学試験、受験勉強のことなど多くの質問がありましたが、今後の少しでも参考になればと思い、1つひとつ丁寧にお話しすると、安心していただけた様子でした。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

(69回生 久保田ひかり)



学校紹介の様子



赤ちゃんの観察について



高齢者体験の様子



懇親会の様子

看護学校からお知らせ

看護学校祭を、平成28年10月7日(金)、8日(土)の2日間にわたり、開催します！
詳しくは、都城医療センター附属看護学校ホームページ <http://www.mkango.ac.jp> をご参照ください。

都城市最大の夏祭り『盆地まつり』参加

平成28年8月6日(土)猛暑のなか、職員総勢100名で参加いたしました。



健康フェスタ

平成28年10月8日(土)

参加費無料

連携医療機関の ご紹介

都北鮫島クリニック



院長
さめしま ひろふみ
鮫島 浩文 先生



所在地	宮崎県都城市都北町5734番地1
TEL・FAX	TEL 0986-38-6060・Fax 0986-38-6100
ホームページ	http://www.samekita-clinic.com
診療科目	胃腸科、内科、外科、肛門科
診療時間	平日8:30～12:30、14:30～18:00、 木曜・土曜8:30～12:30
休診日	日曜・祝日休診
備考	日本外科学会認定 外科専門医、日本消化器学会 消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医、日本消化器外科認定医、日本医師会認定産業医

当院は平成13年10月に都北町に開業し、今年で16年目を迎えようとしております。

開業前は貴院の外科に勤務していたこともあり、貴院には開業当初から大変お世話になっております。

当院では、胃カメラ・大腸内視鏡検査・検診等で受診される患者様が多く、内科・整形外科や小児疾患の患者様も含め、幅広く対応しながら地域に貢献できるよう努めております。本年度から新たに高性能の胃カメラを導入した事で、より詳細な検査結果に基づく診断が可能となりました。また、緊急性の高い症状の患者様には、胃カメラや大腸カメラを即日行って頂ける様対応しております。

近年、検査や検診の受診率が向上し、患者様方との日々の診察の中で感じる医療に対する関心度の高さから、地域の方々の健康管理意識が高まっている事を感じております。

平成13年度から比べると、貴院の新設された科が増えた事により、以前よりも増して患者様の紹介が容易となりました。地域の患者様方にも、より安心して診察・検査・治療を行って頂けるような地域連携の体制が整いつつあると感じております。



現在、都城医療センターは地域医療支援・がん拠点・周産期母子医療等の重要な役割を果たされておられます。私を含め他の開業医の先生方の今後への期待も大変大きいです。これからも総合的に患者様を診ることのできる体制になるよう、益々の発展を期待しております。



内視鏡室

看護学校祭

平成28年10月7日(金)・8日(土)

参加費無料

外来診療科別週間担当医当番表 独立行政法人 都城医療センター 国立病院機構

【全診療科 初診予約制】 受付時間 8:30 ~ 11:00

【平成 28 年 10 月 1 日】

診療科名等		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	初診	血液 肝	加藤 順也	前田 宏一	休診	
	再診		前田 宏一	加藤 順也	前田 宏一 加藤 順也	前田 宏一 加藤 順也
循環器内科		阿南隆一郎	阿南隆一郎	阿南隆一郎		阿南隆一郎
呼吸器内科		後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高
呼吸器科	初診		巻幡 聡 巻幡 聡	手術日	巻幡 聡 巻幡 聡	手術日
	再診	手術日	巻幡 聡 巻幡 聡	手術日	巻幡 聡 巻幡 聡	手術日
小児科	午前	1診	山下 貴大	横山 智美	横山 智美	横山 智美
	午後	1診	平島 要	横山 智美	横山 智美	横山 智美
		2診	横山 智美	斐 孝俊	斐 孝俊	横山 智美
	3診	山下 貴大	横山 智美	シナジス外来 (9月~3月)	1ヶ月健診	斐 孝俊
外科	初診	沖野 哲也	手術日	松本 克孝	手術日	沖野 哲也
	再診	松本 克孝		中尾 陽佑	後藤 又朗	高城 克暢
消化器病センター	初診	藤原 利成	駒田 直人	藤原 利成	駒田 直人	駒田 直人
	再診	藤原 利成	藤原 利成	藤原 利成	駒田 直人	駒田 直人
	内視鏡	駒田 直人	駒田 直人	藤原 利成	夏田 朱一郎 (午後より)	藤原 利成
N S T 外来		駒田 直人 (第二、四火曜日 14:00~16:00)				
整形外科	初診				吉川 教恵 吉川 教恵	吉川 教恵
	再診	税所 幸一郎 上通 一師	吉川 教恵	手術日		吉川 教恵
リウマチ科		税所 幸一郎	税所 幸一郎 (再診のみ)		休診	税所 幸一郎 (再診のみ)
泌尿器科	1診		山崎 丈嗣	山崎 丈嗣	慶田 喜文	山崎 丈嗣
	2診	手術日		慶田 喜文	川平 秀一郎	慶田 喜文
皮膚科			中山 文子 (午前)		中山 文子 (午前)	中山 文子 (午前)
産婦人科	初診	徳永 修一	古田 賢	徳永 修一		古田 賢
	再診		徳永 修一 (14:30まで)	古田 賢	古田 賢	徳永 修一
耳鼻咽喉科	一般	外山 勝浩 宮永 宜明	外山 勝浩 宮永 宜明	外山 勝浩 宮永 宜明	外山 勝浩 宮永 宜明	手術日
	難聴外来	宮永 宜明 (14:00~17:00)				
放射線科	放射線治療 画像診断	平木 嘉幸 新村 耕平	平木 嘉幸 新村 耕平	平木 嘉幸 新村 耕平	平木 嘉幸 新村 耕平	平木 嘉幸 新村 耕平
歯科口腔外科	一般	田畑 雅俊 新西 久保	田畑 雅俊 新西 久保	田畑 雅俊 新西 久保	田畑 雅俊 新西 久保	手術日
	ペインクリニック					横山 幸三 (午後)
	障がい者 歯科					森主 宣延 (月1回)
がんサポート外来						新村 耕平
緩和ケア外来						林 章敏 (第四金曜日)
特殊外来		マザークラス (第二、四火曜日)	フットケア外来	助産師相談室 (午後)	母乳外来	ストーマ外来 (午後)
			リンパ浮腫外来		リンパ浮腫外来	

【その他の特殊診療】

診療科名等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内視鏡センター	上部消化管 下部消化管	上部消化管 下部消化管 気管支	上部消化管 下部消化管	上部消化管 下部消化管 (午後より宮大) 気管支	上部消化管 下部消化管
透視撮影(胃)	外科	外科	外科	外科	外科
骨塩ドック(骨粗鬆症検査)【予約制(14:00以降)】	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科

- ※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いいたします。また各診療科の診察日以外については、急患のみ対応となります。
- ※2 医療機関の方へ：血液内科の初診については、事前に診療FAX連絡票と共に、最新の血液データを送ってください。
- ※3 皮膚科の診察時間は、火曜、木曜、金曜の9時30分~13時となっております。
- ※4 がんサポート外来、緩和ケア外来については、事前にご相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。
- ※5 セカンドオピニオンの受診についても、予約制となっております。がん相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。
- ※6 ペインクリニックは歯科口腔外科を受診された患者様が対象となります。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893



独立行政法人
国立病院機構

都城医療センター

(地域がん診療連携拠点病院・
地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864

E-mail/syomu-2@hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp

編集発行：広報委員会

健康フェスタ

平成28年10月8日(土)

参加費無料